

| | | | | | | | | | | | | | |
|--|------------------|---|---------|--|--|-------|---|-------|-------|---|-------|---|--|
| 事業コード | | | 政策コード | | | 政策名 | 犯罪の起きにくい社会づくりの推進 | | | | | | |
| 事業名 | 地域と連携した防犯体制の整備事業 | | 施策コード | | | 施策名 | 「秋田県地域安全ネットワーク」の活性化及びこれを基盤とした社会の規範意識の向上 | | | | | | |
| | | | 目標コード | | | 施策目標名 | 地域が一体となった自主防犯意識の高揚 | | | | | | |
| 部署名 | 警察本部 | 課名 | 生活安全企画課 | | 係名 | 企画係 | (tel)3023 | 担当課長名 | 荻原 勲 | 担当者名 | 保坂 昌史 | | |
| 評価対象事業の内容 | | | | | | | | 事業年度 | 17年度～ | | 年度 | | |
| 1-1. 事業実施の背景(施策目的達成のための必要性) 各種犯罪抑止対策等を推進した結果、刑法犯認知件数は平成28年以降連続して2,000件台の低水準で推移するなど犯罪の総量抑止に一定の成果が表れている。しかし、近年、子供や女性に対する声掛け等の前兆事案の発生が高水準で推移しているほか、特殊詐欺被害が増加傾向にあるなど、真に安全・安心を感じるには至っていない状況にある。このため、犯罪の抑止効果のある街頭防犯カメラを設置し、県民の安全と安心を確保する必要がある。 | | | | | 3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 県内で結成されている各種防犯団体が連携して地域ボランティア活動を活性化し、それぞれ自主的な防犯活動を推進することにより、良好な治安状態を維持して犯罪のない明るく住みよい地域社会の実現を目指す。 | | | | | 4. 重点施策推進方針との関係 | | <input checked="" type="checkbox"/> 重点推進事項 <input type="checkbox"/> その他の事業 | |
| 1-2. 外部環境の変化及び事業推進上の問題点 生活様式の都市型化や少子高齢化等に伴い、地域のつながりに基づいた社会の犯罪抑止機能の低下が危惧されるほか、犯罪の内容が複雑・多様化している。 地域安全活動に関しては、活動に従事する地域住民の高齢化が課題となっていることから、現役世代の住民や事業所等を活動に組み入れるなどして、活動の更なる活性化を図る必要がある。 | | | | | 5. 目的達成のための方法 ①事業の実施主体 秋田県警察本部 ②事業の対象者・団体 県民 ③達成のための手段 情報発信・要望把握活動等のネットワーク活動や自主防犯活動に資する物品の貸与等を行い、地域住民による自主防犯活動を支援するとともに、地域安全ネットワークを構成する各団体等が相互に意見交換を交わす交流会を開催するなど、自主防犯活動の活発化を図る。 | | | | | 6. 前回評価結果等 | | <input checked="" type="checkbox"/> 実施又は継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 再検討又は縮小・休廃止 | |
| 2. 住民ニーズの状況(事業継続中に把握したもの) ①ニーズを把握した対象 <input type="checkbox"/> 受益者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般県民 (時期: R2年 月) ②ニーズの把握の方法 <input type="checkbox"/> アンケート調査 <input type="checkbox"/> 各種委員会及び審議会 <input type="checkbox"/> ヒアリング <input type="checkbox"/> インターネット <input checked="" type="checkbox"/> その他の手法 (具体的に各種会合、研修会等で意見聴取し把握) ③ニーズの具体的内容 犯罪の発生等に関する情報提供や犯罪の被害に遭わないための啓発活動の推進が求められている。 | | | | | ①指摘事項 刑法犯認知件数が低水準で推移するなど、犯罪の総量抑制に有効性が認められる。 一方で、子供・女性に対する声掛け事案が高水準で発生しているほか、特殊詐欺被害も後を絶たないなど、体感治安の向上までには至っていない現状にあることから、警察が地域住民や自治体等と連携・協働して地域安全運動を継続推進する必要がある。 | | | | | ②指摘事項への対応 情報発信活動や交流会、防犯講話を開催するなど防犯団体の支援を行うとともに、事業の継続に必要な予算の獲得に努めた。 | | | |
| 7. 事業の全体計画及び財源 | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内訳コード | 事業項目 | 左の説明 | | | | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 全体(最終)計画 | |
| | 地域安全ネットワーク事業 | 地域住民による自主的な地域安全活動を活発化するため、インターネットを活用した地域安全情報の提供、活動拠点の整備、地域安全ネットワーク推進交流会の開催等を行う。 | | | | 1,846 | 1,766 | 1,636 | 1,049 | 1,583 | 1,381 | | |
| | 犯罪抑止対策事業 | 特殊詐欺被害防止や無施設対策等の重点広報を実施するとともに、地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策を推進していく。 | | | | 574 | 616 | 480 | 432 | 781 | 931 | | |
| 予算額(千円) | | | | | | 2,420 | 2,382 | 2,116 | 1,481 | 2,364 | 2,312 | | |
| 財源内訳 | 国庫補助金 | | | | | | | | | | | | |
| | 県の債 | | | | | | | | | | | | |
| | その他一般財源 | | | | | 2,420 | 2,382 | 2,116 | 1,481 | 2,364 | 2,312 | | |

8. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

指標名 地域安全ネットワーク推進交流会開催状況

指標の種類 成果指標 業績指標

指標式 $b \text{ (交流会開催回数)} \div a \text{ (警察署数)}$

①年度別の目標値(見込まれる効果)

| 指標 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 01年度 | 02年度 | 03年度 | 最終年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|---------|
| 目標a | 15 | 15 | 15 | 15 | 14 | 14 | 14 | |
| 実績b | 23 | 30 | 28 | 42 | 34 | 30 | | |
| b/a | 153.3% | 200.0% | 186.7% | 280.0% | 242.9% | 214.3% | 0.0% | #DIV/0! |
| 東北 | | | | | | | | |
| 全国 | | | | | | | | |

②データ等の出典 地域安全ネットワーク推進交流会実施結果報告

③把握する時期 当該年度中 1 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標名

指標の種類 成果指標 業績指標

指標式 $a \text{ (目標)} \div b \text{ (自転車盗難被害件数(無施錠)} \div \text{自転車盗難被害総件数} = \text{自転車盗難被害の無施錠率})$

①年度別の目標値(見込まれる効果)

| 指標 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 01年度 | 02年度 | 03年度 | 最終年度 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|---------|
| 目標a | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | |
| 実績b | 82 | 70 | 75 | 81 | 78 | 79 | | |
| b/a | 73.2% | 85.7% | 80.0% | 74.1% | 76.9% | 75.9% | #DIV/0! | #DIV/0! |
| 東北 | | | | | | | | |
| 全国 | | | | | | | | |

②データ等の出典

③把握する時期 当該年度中 1 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

②具体的な把握方法

③把握した効果

④データ等の出典

⑤把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

所管所属長による評価

| | 評価結果 |
|--|--|
| 現状の課題に照らした妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c 犯罪の総量抑止に効果が表れているが、全国的に子供が被害者となる凶悪犯罪が発生し、県内においても子供や女性に対する声掛け等の事案が高水準で発生しているほか、全国に比べて無施錠による盗難被害が高い状況にあることから、警察が地域住民や自治体等との協働により、地域安全活動を推進して地域安全活動を活性化させ、これを基盤とした社会の規範意識の向上を図る必要性は高いと認められる。 | <input checked="" type="checkbox"/> A |
| 住民ニーズに照らした妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c 地域住民に対する犯罪発生情報等の防犯に必要な情報の提供、防犯活動を実施する際の支援、リーダーの育成等に関する地域住民のニーズは高く、必要性は高いと認められる。 | <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C |
| 法令・条例上の要請等 【理由】 秋田県安全・安心まちづくり条例 | |

| | |
|--|---|
| 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> a <input checked="" type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c 【理由】 令和2年中、各地域の犯罪情勢に即した犯罪情報の提供、広報啓発活動等の取組を推進した結果、刑法犯認知件数は、前年比では増加となったものの平成28年以降連続して2,000件台の低水準で推移するなど、犯罪の総量抑止に効果が表れている。一方、依然として無施錠による自転車の盗難被害が多く、無施錠対策が課題となっている。 | 評価の対象 <input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 対象外 <input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C |
| 事業の経済性の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c 【理由】 本事業は、県民が安全に安心して暮らすことのできる地域社会を実現するため、防犯ポスターやリーフレットなどを活用して地域安全情報を発信しているほか、地域住民の自主的な活動と連携したり、各種会合等での防犯講話を警察官が担当するなど、費用対効果の面からも高い効率性が認められる。 | <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C |

| |
|---|
| 事業の妥当性 <input type="checkbox"/> A(妥当性が高い) <input checked="" type="checkbox"/> B(概ね妥当である) <input type="checkbox"/> C(妥当性が低い) |
| 対応方針 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持で継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 休廃止 犯罪の総量抑止に成果が表れており、本事業の有効性が認められる。地域住民と連携した活動を行うことで、地域住民の自主防犯意識の高揚、自主的な地域安全活動についてより高い効果が得られることから、今後も継続して推進する必要がある。 |

評価結果の当該事業への反映状況(対応方針)
 継続して推進するために必要な予算の獲得に努める。

政策評価委員会意見(諮問する事業についてのみ記載)